新価値創造展
2014

# ベスト
# H!NT賞

ベスト
H!NT賞

## 「新価値創造展」とは…

独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）が主催する「中小企業総合展」が10回目を迎えた2014年、より進化した「新価値創造展」として生まれ変わった。中小・ベンチャー企業にビジネスマッチングの機会を提供する日本最大級のイベントで、2014年11月に開催した「新価値創造展2014」では、①健康長寿社会×ITでビジネスを創る（医療・介護・健康・ITなど）、②地域コミュニティの再生に貢献するビジネスを創る（住宅・福祉・環境・エネルギーなど）、③ひとの感性・技能を活かした技術ネットワーキングを進める（部品・素材・加工・機械・機器・ITなど）の3つのテーマを掲げ、新価値の創造に意欲的な583社・機関・団体が出展した。

## 「ベストH!NT賞」とは…

「新価値創造展2014」の出展企業の中から、新事業の取り組みの際に参考となる9社を「新価値部門」の受賞者として選定したほか、女性の視点を生かした商品開発などに実績を挙げた企業として「女子力部門」2社を選定、表彰した。

## CONTENTS

〈ベストH!NT賞受賞11社の横顔〉


新価値部門

株式会社キンセイ産業（群馬県）……P2
倉敷レーザー株式会社（岡山県）……P3
株式会社クリスタルプロセス（広島県）……P4
株式会社魁半導体（京都府）……P5
株式会社シンフォディア・フィル（山形県）……P6
大成技研株式会社（東京都）……P7
奈良精工株式会社（奈良県）……P8
平井工業株式会社（兵庫県）……P9
マツバラ金網株式会社（大阪府）……P10

女子力部門

ユウアイ電子工業株式会社（山梨県）……P11
リーフ株式会社（福岡県）……P12

講評……P13
新価値創造展2015 in Kansaiのお知らせ……P14

# 株式会社キンセイ産業　群馬県

## 乾溜ガス化燃焼装置を世界で初めて開発
## 小型の焼却発電システムでアジアに飛躍

環境問題が今日ほどクローズアップされていなかった1967（昭和42）年の創業当初から、廃棄物の完全燃焼による無害化の実現を目指した焼却装置開発に照準を合わせ、世界初の「乾溜ガス化燃焼方式」を採用した焼却装置を開発。近年は国内のみならず、中国や韓国、タイなどアジア各国でも事業を展開している。

「乾溜ガス化燃焼方式」とは乾溜ガス化炉と燃焼炉の2つの炉で構成され、廃棄物を乾溜することで可燃性ガスを生じさせ、焼却炉で廃棄物を高温かつ安定的に燃焼させる方式。ダイオキシンなどの有害物質の発生を抑えるとともに、廃棄物の減量にも貢献するという。

近年は焼却時の熱を利用して発電する各種発電システムも次々に開発。1時間あたり15kgの焼却から発電が可能な小型発電システムは、電力供給源の乏しい東南アジアの島国などに注目され、特に感染性廃棄物の焼却無害化は評価が高く、創業から47年で、国内やアジア各国に納入した装置は2700基以上に上る。

「新価値創造展」への出展が新たなニーズの掘り起こしにつながる可能性もあり、常務取締役海外企画本部長の金子啓一氏は「多くの人たちとの出会いを新たな製品につなげていきたい」と話す。

常務取締役
海外企画本部長
金子 啓一氏

株式会社キンセイ産業
1967年創業の焼却装置・熱エネルギープラント設計・開発・製造会社。資本金5000万円、従業員80人。本社は群馬県高崎市。

# 株式会社クリスタルプロセス　広島県

## 親水コーティング剤や「一発鏡面」シリーズ
## 表面処理の独自技術を生かした製品開発

自動車用のコーティング剤や家庭用特殊洗剤などの独自製品開発を主力事業とする株式会社クリスタルプロセス。そんな同社の技術の粋を集めた開発製品のひとつが、親水コーティング剤だ。

これは、独自開発した特殊シリコーンオリゴマーが超親水被膜を形成。車のサイドミラーなどへの水滴の発生を防止するため、雨降りの日でもミラーが見にくくなることがなく、またウォータースポット（水ジミ）などの汚れも付着しにくい特性がある。同社はこの製品を自動車以外の用途に広げようと、施設内で鏡を使用するホテルや温泉施設などへ売り込んでおり、「新価値創造展」では従来取引のなかった温泉施設メンテナンス業者から注文を受け、販路の拡大につながった。浴室の鏡の汚れが激しい温泉施設からは「汚れにくく、汚れても水をかけるだけで簡単に落とせるので、メンテナンス費用の削減につながった」と好評だ。

このほか、自動車のボディなどの鏡面仕上げが1工程でできる「一発鏡面」シリーズなどの独自製品を展開する同社。海外事業課課長の葛間優太氏は「表面処理のプロフェッショナルとして培ってきた独自技術を、より多くの分野や業界に役立てていきたい」と話している。

代表取締役
秋吉 一介氏

株式会社クリスタルプロセス
1994年創業、2004年設立の自動車用品・家庭用洗剤開発会社。資本金1000万円、従業員約35人。本社は広島県東広島市。

# 倉敷レーザー株式会社　岡山県

## 最新のレーザー加工・精密板金加工技術と
## ITの融合であらゆるニーズに応える

会社設立から30年以上にわたって培ってきたレーザー切断加工と精密板金加工の技術を武器に、高品質な製品をユーザーに供給している倉敷レーザー株式会社。強さの秘密は最新の加工技術とIT（情報技術）の融合にある。見積もりからCAD製作、生産、納品まで一元管理する独自の生産管理システムで、短納期と高品質を両立。経済産業省「中小企業IT経営力大賞2010」のIT経営実践認定企業にも選ばれた。

短時間での加工が可能で歪みも少ないYAGレーザー溶接やTIGロボット溶接などの技術もいち早く導入。また、24時間無人運転ができる体制も構築し、加工のスピード化と効率化、製品の安定供給につなげている。2012年には福島県に東北事業所を開設、本社・東北・九州の3拠点できめ細かな顧客対応をしている。そんな同社の技術の粋を集めて製作した金閣寺のモニュメントは、その精緻な造作が息をのむほどの美しさだ。

東北事業所長の池田有一郎氏は「重ね溶接や加圧成形といった新たな技術にも挑戦し、実用化を進めています。『新価値創造展』では幅広い業種のお客様に当社の技術をアピールでき、関心を持っていただくことができました」と語る。

代表取締役
難波 敢氏

倉敷レーザー株式会社
1965年創業、1983年設立のレーザー加工・精密板金加工会社。資本金3000万円、従業員約200人。本社は岡山県倉敷市。

# 株式会社魁半導体　京都府

## 卓上型や回転式のプラズマ装置を開発
## 医療・バイオ関連向けへ用途を拡大

京都工芸繊維大学発のベンチャー企業として誕生し、表面改質や洗浄を目的としたプラズマ装置を開発している株式会社魁半導体。使い勝手が良く価格もリーズナブルな独自のプラズマ装置の開発で、電機・自動車業界のほか、医療・バイオ関連分野向けにも市場を広げている。

「プラズマ」とは分子から電子が分離（＝電離）した状態で、固体、液体、気体に次ぐ「第４の物質」とも呼ばれる。電子が抜けて反応性が高くなった分子の状態を利用して、材料の表面に新たな機能を付加する表面改質や有機物の除去などを行うのがプラズマ装置の原理だ。

同社は、高額で操作も難しい機器が主流だったプラズマ装置の市場に、コンパクトで取り扱いも容易な卓上型の真空プラズマ装置や、ペン型の大気圧プラズマ装置などを投入。さらには、ニーズが高かった粉体を対象としたプラズマ処理装置、回転式ドラムで電子部品の表裏を一括処理できる回転式真空プラズマ装置など、新たな装置を次々に開発している。

「中国や韓国など海外向けの販売にも力を入れています」と代表取締役の田口貢士氏。「新価値創造展」への出展を弾みにして、社名のとおり「プラズマ装置普及のさきがけ」として世界に打って出る。

代表取締役
田口 貢士氏

株式会社魁半導体
2002年設立のプラズマ装置開発・製造・販売会社。資本金1000万円、従業員約12人。本社は京都府京都市。

# 株式会社シンフォディア・フィル　山形県

## 室内の壁や机が仮想スイッチになる
## センサーを活用した次世代装置を開発

代表取締役の滝口収氏が電機メーカー退職後、技術系のコンサルタント会社経営を経て２００７年に設立した株式会社シンフォディア・フィル。各種センサーを活用した次世代型の装置やソフトウェアを開発し、注目を集めている。

そのひとつが、埼玉大学と連携して開発した「どこでもスイッチ」。室内の壁や机の脚などに圧力センサーモジュールを取り付けて、その表面に伝わる力を感知し、触る場所や触り方によって室内の照明や家電を操作できるタッチ式パネルに早変わりする。「テレビのリモコンにも使えるし、指をスライドさせて照明の明るさを調整することも可能。室内の様々な場所をスイッチに変えられるので、バリアフリーにも対応できる。現在、ハウスメーカーや家具メーカーと連携して実証試験を進めており、2年後をめどに実用化したい」と滝口氏。「新価値創造展」でもそのユニークな技術が注目を集めた。

ほかにも、農業（植物健全度測定装置）、福祉（見守りシステム）、セキュリティ（人移動感知システム）、ヘルスケア（脈拍や心拍測定装置）など、センサーを活用した多様なシステムを開発中の同社。滝口氏は「世の中をどう便利にしていくかをテーマに開発を続けたい」と力を込める。

代表取締役
滝口 収氏

株式会社シンフォディア・フィル
2007年設立のデジタルソリューション・技術設計会社。資本金2000万円、従業員約10人。本社は山形県米沢市。

# 奈良精工株式会社　奈良県

## 高次元の精密機械加工の技術を生かして独自の医療機器を製造し、未来を創造

カメラなどを製造する大手精密機器メーカーの子会社としてスタートし、精密機械加工の技術を生かして光学機器から医療機器、鉄道・航空機部品へとフィールドを広げている奈良精工株式会社。近年は医療機関との連携による精密医療機器の分野で高い評価を得ている。

その象徴的な製品のひとつが、奈良県立医科大学と共同開発した、腱鞘炎の一種であるばね指（弾撥指）の手術に用いる切開用手術器械。従来20㎜ほど切開することが必要だったばね指の外科手術を、2㎜程度の切開で済ませることを可能にした、患者の体に優しい手術器械で、それまで1週間程度かかっていた治癒にかかる日数も2日程度に短縮した。

ほかにも歯科用のインプラントや手術器械、人工関節など精密さと品質の確かさが要求される医療器具を世に送り出している同社。第一種医療機器製造販売事業者として、設計・開発から製造、出荷まで自社でまかなっている。

「現在25％程度の医療機器の売り上げを50％まで伸ばしたいと考えています」と代表取締役社長の中川博央氏。「新価値創造展」では医療機器メーカーとのジョイントが実現。手術器具として同メーカーから近く販売される予定だという。

代表取締役社長
中川 博央氏

奈良精工株式会社
1968年設立の医療機器・光学機器・鉄道航空機部品開発・製造会社。資本金3000万円、従業員44人。本社は奈良県桜井市。

# 大成技研株式会社　東京都

## 「魔法のフィルター」との出合いが生んだ真空排ガス粉塵除去機などで独自の存在感

半導体や液晶の製造装置から排気される超微細なガス反応生成物（微粉体）を除去する真空排ガス粉塵除去機など、真空産業向けのトラップ（不要物除去装置）技術でその名を知られる大成技研株式会社。製造業の世界で広がる真空技術の分野で存在感を示している。

飛躍のきっかけは、代表取締役の斉藤義貴氏が「魔法のフィルター」と呼ぶ特殊な繊維との出合い。この繊維を活用した同社のエレメントは、それまでのフィルターでは除去できなかった気体中の微粉体を吸着できる。同社はこの技術を活用して、当初製造していたオイルクリーナーから、半導体・液晶製造装置向けの粉塵除去機や気体の液体分離装置などへと製品ラインナップを拡大。製造設備のメンテナンスの労力削減や生産性向上につながる同社の製品は着実にユーザーを増やしており、「高度な技術を見てもらおう」と「新価値創造展」に出展した。

近年の主力市場は、製造業の成長が著しい中国、韓国、台湾をはじめとしたアジア各国。「拠点づくり、販路拡大を積極的に進めています」と斎藤氏は言う。

「他社にない独自の技術、固有の製品を核に、環境保全・保護に貢献する世界一のトラップメーカー」を目指している。

代表取締役
斉藤 義貴氏

大成技研株式会社
1986年設立の排ガス粉塵除去機・オイル浄化装置の開発・製造会社。資本金4000万円、従業員20人。本社は東京都足立区。

# 平井工業株式会社　兵庫県

## 精密研削・研磨のプロフェッショナル集団
## 均一な仕上がりで摩耗も少ないHIP LIP

部品メーカーとして培った精密研削・研磨加工のプロフェッショナルな技術を武器に加工専門会社に転身、多分野の企業との取引実績を重ねてきた平井工業株式会社。特にHIP処理（熱間等方圧加圧処理）と呼ばれる特殊な接合技術から生まれる高硬度ニッケル系合金による高性能金型（HIP LIP）は先端のエッジが均一に仕上がり、摩耗が少なく、さびにくいという特徴を持つ看板技術だ。

「HIP LIPは異質金属の接合の研究を重ねてきた歴史の結晶」と専務取締役（HIP担当）の平井昌夫氏。万一の傷や摩耗に対しても研削のみで機能を回復することができ、また補修工程が少なく、期間も短くて済むため、ランニング費用の低減につながる高機能製品だ。「海外での注目度も高く、引き合いが多くあります。海外の企業は決断が早く、優良な技術・製品だと判断されたら取引が始まるのが早いのも魅力」と平井氏は語る。

「新価値創造展」への出展は「新たな価値を生むためのパートナーの情報を得るのに有益だった」と語る平井氏。素材メーカーや製品メーカーとの連携で、さらなる〝難削加工素材〟の加工にも挑戦、「産業社会のあらゆるニーズに応える」ことを使命として歩みを続ける。

専務取締役
（HIP担当）
平井 昌夫氏

平井工業株式会社

1948年創業、1955年設立の精密研削・研磨の専門会社。資本金2000万円、従業員30人。本社は兵庫県尼崎市

# マツバラ金網株式会社　大阪府

## 産業界のニーズに応える高機能金網を開発
## 独自の製品で世界へ売り込みを図る

金網といえば、すぐに浮かぶのは敷地の境界に建てられるフェンスや調理用の焼き網などだが、実は産業用としてもフィルターなどのろ過用や補強用、運搬用など、多様な場面で利用されている。そんな多岐にわたる産業界の金網ニーズに応えているのがマツバラ金網株式会社だ。

一口に金網といっても、一般的な織金網から合間にクリンプ（ひだ）を施したクリンプ金網、2枚1組の網を幾層にも重ねたデミスター、らせんと直線を組み合わせたスパイラル金網など、多くの種類があり、同社はそうした多くのタイプの金網に対応。さらに近年はより高機能の金網も開発し、付加価値を増している。

そのひとつが、塩素（塩化物）への耐食性に優れたオーステナイト系ステンレス製の金網。食品産業向けのほか、水資源に乏しい海外の国の海水淡水化施設向けの用途を想定している。また、磁性を有するものの耐食性に弱いという弱点があったフェライト系ステンレス金網で、その弱みを克服した金網も新たに開発し、市場の拡大が期待されている。

代表取締役の東田龍一郎氏は「よそがまねできない製品で、積極的に海外へ出て勝負したい。『新価値創造展』への出展でその決意を新たにした」と力強く語る。

代表取締役
東田 龍一郎氏

マツバラ金網株式会社

1961年創業、1976年設立の各種金網製造・販売会社。資本金1000万円、従業員28人。本社は大阪府松原市。

# ユウアイ電子工業株式会社　山梨県

## 女性たちが主体となった小集団活動で作業現場の改善や品質向上などを実現

通信をはじめとした電気関連の設備に欠かせないハーネス（電線を束ねたもの）の製造やケーブルの加工を事業領域とするユウアイ電子工業株式会社。ハーネスの軽量化や、困難とされるアルミ電線と銅端子の接合技術など、独自の工夫と技術で顧客のニーズに応えており、「新価値創造展」でもその製品が注目を集めた。

そんな同社の屋台骨を支えているのが、全従業員約40人中27人を占める女性たちのパワー。現場リーダーも6人中4人を女性が占めており、その現場女性リーダーの提案を受け、代表取締役の内田裕之氏の強い後押しも得て2007年にスタートさせたのが小集団活動だ。

5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）による作業現場の改善や品質向上、作業効率改善などを目的に社内を5つのグループに分けて月2回、各30分の会議を開催。ほとんどのグループで女性がリーダーを歴任、その自発的・自主的な活動により、品質向上のための検査装置製作や作業効率改善のための治具製作などが実現した。

「どちらかといえば、受け身がちだった女性たちがより積極的に仕事に取り組むようになり、会社としての競争力強化にもつながっています」と内田氏。女性の力が社内に新風を巻き起こしている。

代表取締役
内田 裕之氏

ユウアイ電子工業株式会社
1969年設立のハーネス製造・ケーブル加工会社。資本金1000万円、従業員40人。本社は山梨県甲州市。

# リーフ株式会社　福岡県

## 女性ならではの発想・視点を生かした歩行リハビリ支援ツール「Tree」を開発

2008年設立のロボット開発ベンチャー、リーフ株式会社。代表取締役の森政雄氏によると、現在の事業は産業分野と医療・介護分野がほぼ半々だが、産学官の連携で開発した歩行リハビリ支援ツール「Tree」など医療・介護分野の機器が近年、とりわけ注目を集めている。

「Tree」は片麻痺になった患者らの歩行をサポートするツール。利用者の顔の前の画面に歩行の目標となる足位置を映し出し、さらに音声による声かけで歩行をアシストしてくれるため、早い時期から安心してリハビリに取り組める。また、足のサイズや体重、歩幅、歩行速度など個々のデータを事前に入力できるため、自分に合った無理のない歩行ができる。

女性社員が開発段階から加わり、「女性ならではの発想・視点を生かしています」と森氏。ユーザーとなる高齢者との円滑なコミュニケーション、「孫が手を引くイメージ」を打ち出した外装デザインやガイド音声など、女性の発想・視点が随所に生かされ、「新価値創造展」でもそれらの工夫に、来場者の関心が集まった。

今後、女性の就労者が多い製造現場で扱いやすいように工夫したロボットの開発など、女性の視点を生かした製品の開発をさらに積極化する方針だ。

代表取締役
森 政雄氏

リーフ株式会社
2008年設立の制御システム・機械システムなど開発会社。資本金200万円、従業員約10人。本社は福岡県北九州市。

## ～ 講　評 ～

**柿沼 文彦氏**（独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部審議役）

ベストH!NT賞の新価値部門の選考にあたっては、①挑戦しているベンチャー企業に活躍の機会を提供する、②伝承技能や伝統的技術を新しい考えや大企業との連携によって革新し、世界にアピールできる、③医療分野や航空機産業など最先端の分野を下支えしているものづくり企業にさらなる飛躍を期す――の3つの視点から、専門家による選考委員会と議論しながら9社を選んだ。これからも新しいテーマでチャレンジする企業を応援していきたい。世界に向けて発信できる企業となっていただくことを願っている。

**橘田 佳音利氏**（株式会社フラジュテリー 代表取締役）

ベスト H!NT賞の女子力部門の選考を務めさせていただいた。女性が能力を認められ、企業で活躍できるようにと支援してきた立場からみて、最近は女性の活躍の場が広がり、それが企業の実績につながるようになってきたことを実感する。今回受賞が決まった2社は、男性の経営者が女性に活躍する場を提供し、それが実績につながるように協力してきた企業であり、そのことが女性の力を引き出したといえる。これからも企業の経営者の皆さんが、女性が頑張り、男性も頑張るような場をどんどんつくっていってくれたら、うれしく思う。



西日本最大級のビジネスマッチングイベント

# 新価値創造展2015 in kansai
## （第10回中小企業総合展2015 in kansai）
# 開催のお知らせ

会期：2015年5月27日（水）・28日（木）・29日（金）

会場：インテックス大阪（大阪市住之江区南港北1-5-102）

出展社数（予定）：中小・ベンチャー企業約300社

主催：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

後援（予定）：経済産業省中小企業庁、近畿経済産業局、日本商工会議所、全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会、株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫

協賛（予定）：一般社団法人日本科学機器協会、中小企業家同友会全国協議会

### 開催趣旨

自社の強みの再認識と魅力発信を通じて、他の出展者、事業者との共創、すなわち自社技術・サービスの新たな視点による組み合わせを行うなど、中小製造業の皆様のマッチングを強力にバックアップすることを目指して開催します。新しいアイデアや技術を求める大企業の事業企画部門・研究開発担当者を始めとする多様なニーズとの出会いや、新たな社会的課題の解決による事業化のための視点が期待されます。具体的には以下の3つのテーマを設定しております。

1. 健康長寿社会× ITでビジネスを創る（医療・介護・健康・ITなど）
2. 地域コミュニティの再生に貢献するビジネスを創る（住宅・福祉・環境・エネルギーなど）
3. ひとの感性・技能を活かした技術ネットワーキングを進める（部品・素材・加工・機械・機器・ITなど）

### お問い合わせ先

新価値創造展2015 in kansai 事務局　TEL:03-5909-8765 FAX:03-5909-8786
E-mail:sk2015@wm.smrj.go.jp　URL:http://shinkachi.smrj.go.jp/kansai